

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成30年10月4日(2018.10.4)

【公開番号】特開2016-91132(P2016-91132A)

【公開日】平成28年5月23日(2016.5.23)

【年通号数】公開・登録公報2016-031

【出願番号】特願2014-222134(P2014-222134)

【国際特許分類】

G 06 F 13/00 (2006.01)

G 06 F 21/62 (2013.01)

【F I】

G 06 F 13/00 6 1 0 S

G 06 F 21/62 3 0 9

【手続補正書】

【提出日】平成30年8月23日(2018.8.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

検出すべき文字列を記憶した検出文字列記憶手段と、

送信者からの電子メールを受信するメール受信手段と、

前記メール受信手段により受信した前記送信者からの電子メールであって、前記検出文字列記憶手段に記憶された検出すべき文字列を含む電子メールの一部又は全体を暗号化する暗号化手段と、

前記電子メールのメール本文に含まれる前記検出すべき文字列をマスクするマスク手段と、

前記マスク手段により前記メール本文がマスクされた電子メールに、前記暗号化手段により暗号化された電子メールが添付されたマスクメールを作成するマスクメール生成手段と、

前記送信者からの電子メールの受信者に対して、前記マスクメール生成手段により作成されたマスクメールを配信するメール配信手段と、

を有する情報処理装置。

【請求項2】

前記マスク手段は、

前記送信者からの電子メールの宛先に基づき、前記検出すべき文字列をマスクするかを決定すること

を特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項3】

前記検出した文字列に対応するセキュリティレベルを記憶するセキュリティレベル記憶手段を更に有し、

前記マスク手段は、

前記送信者からの電子メールに含まれる検出すべき文字列に対応するセキュリティレベルに基づき、当該検出すべき文字列をマスクするかを決定すること

を特徴とする請求項1又は2記載の情報処理装置。

【請求項4】

前記マスク手段は、

前記送信者からの電子メールに含まれる検出すべき文字列に対応するセキュリティレベルに基づき、マスクする部分を決定すること
を特徴とする請求項3に記載の情報処理装置。

【請求項5】

前記暗号化手段は、

前記検出された文字列の数が所定数より多い場合は、前記送信者からの電子メール全体を暗号化し、一方、所定数より少ない場合は、マスク部分のみを暗号化すること
を特徴とする請求項1乃至4のいずれか1項に記載の情報処理装置。

【請求項6】

前記受信者が受信した電子メールを所持している場合、前記暗号化手段により生成された暗号化された電子メールの復号化ができるように制御すること
を特徴とする請求項1乃至5のいずれか1項に記載の情報処理装置。

【請求項7】

前記暗号化手段より生成された暗号化された電子メールは、前記検出した文字列に対応するセキュリティレベルに基づき、復号により生成されるファイル形式を決定すること
を特徴とする請求項1乃至6のいずれか1項に記載の情報処理装置。

【請求項8】

電子メールを配信することが可能な情報処理装置と、前記配信された電子メールを閲覧
することが可能なクライアント端末からなるメールシステムであって、

前記情報処理装置は、

検出すべき文字列を記憶した検出文字列記憶手段と、

送信者からの電子メールを受信するメール受信手段と、

前記メール受信手段により受信した前記送信者からの電子メールであって、前記検出文字列記憶手段に記憶された検出すべき文字列を含む電子メールの一部又は全体を暗号化する暗号化手段と、

前記電子メールのメール本文に含まれる前記検出すべき文字列をマスクするマスク手段
と、

前記マスク手段により前記メール本文がマスクされた電子メールに、前記暗号化手段により暗号化された電子メールが添付されたマスクメールを作成するマスクメール生成手段
と、

前記送信者からの電子メールの受信者に対して、前記マスクメール生成手段により作成
されたマスクメールを配信するメール配信手段と、
を有し、

前記クライアント端末は、

前記メール配信手段により配信されたマスクメールを受信する配信メール受信手段を有
し、

前記メール配信手段により配信されたマスクメールを所持している場合に、前記配信メ
ール受信手段により受信したマスクメールに添付された前記暗号化された電子メールの復
号化ができるように制御すること、

を有するメールシステム。

【請求項9】

検出すべき文字列を記憶した検出文字列記憶手段を有する情報処理装置の処理方法であ
つて、

前記情報処理装置が、

送信者からの電子メールを受信するメール受信ステップと、

前記メール受信ステップにより受信した前記送信者からの電子メールであって、前記検
出文字列記憶手段に記憶された検出すべき文字列を含む電子メールの一部又は全体を暗号
化する暗号化ステップと、

前記電子メールのメール本文に含まれる前記検出すべき文字列をマスクするマスクステ

ップと、

前記マスクステップにより前記メール本文がマスクされた電子メールに、前記暗号化ステップにより暗号化された電子メールが添付されたマスクメールを作成するマスクメール生成ステップと、

前記送信者からの電子メールの受信者に対して、前記マスクメール生成ステップにより作成されたマスクメールを配信するメール配信ステップと、
を実行することを特徴とする処理方法。

【請求項 10】

コンピュータを請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置として機能させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

そこで本願発明では、機密情報をマスクした電子メールであって、受信者の利便性を考慮した電子メールを配信することが可能な情報処理装置を提供することを目的とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

検出すべき文字列を記憶した検出文字列記憶手段と、送信者からの電子メールを受信するメール受信手段と、前記メール受信手段により受信した前記送信者からの電子メールであって、前記検出文字列記憶手段に記憶された検出すべき文字列を含む電子メールの一部又は全体を暗号化する暗号化手段と、前記電子メールのメール本文に含まれる前記検出すべき文字列をマスクするマスク手段と、前記マスク手段により前記メール本文がマスクされた電子メールに、前記暗号化手段により暗号化された電子メールが添付されたマスクメールを作成するマスクメール生成手段と、前記送信者からの電子メールの受信者に対して、前記マスクメール生成手段により作成されたマスクメールを配信するメール配信手段と、を有する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明によれば、機密情報をマスクした電子メールであって、受信者の利便性を考慮した電子メールを配信する情報処理装置を提供することが可能となる。